

「新磐田スマートインターチェンジ」に決定！

～新東名高速道路スマートインターチェンジの名称決まる～

磐田市と中日本高速道路(株)東京支社が共同で進めている新東名高速道路に接続するスマートインターチェンジの名称が「新磐田スマートインターチェンジ」に決定しました。

名称の考え方

所在地である磐田市の「磐田」に、東名高速道路と区別することを意味する「新」を冠することにより、所在地を明確にし判りやすく簡潔で、道路標識の表示においても判読しやすい名称に決定しました。

名称決定までの手続き

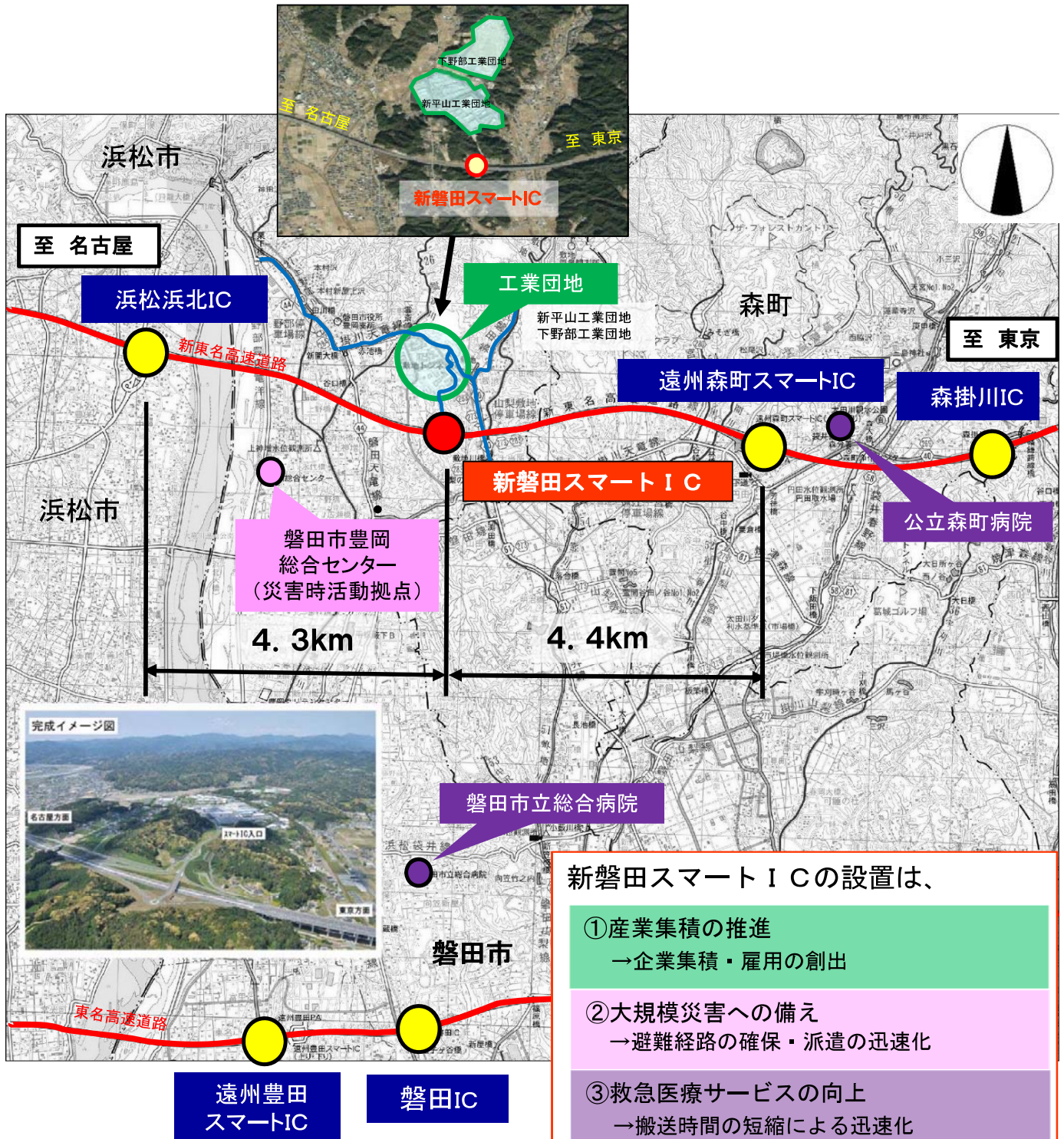
- 令和2年6月 新磐田スマートインターチェンジ地区協議会（名称原案）
- 7月 中部ブロック道路標識適正化委員会静岡支部（名称案）
- 7月 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構及び中日本高速道路株式会社（伝達）

事業概要

- 設置場所 : 遠州森町 SIC～浜松浜北 IC 間
遠州森町 SIC から 4.4 km、浜松浜北 IC から 4.3 km
- SIC 形式 : 本線直結型（24 時間運用、車長 16.5mまで通行可能）
- 計画交通量 : 1,500 台/日
- 事業期間 : 平成 25 年度から令和 3 年度
- 開通予定時期 : 令和 3 年初夏

新磐田スマートIC位置図と整備効果

資料1



新磐田スマートICの設置は、

- ①産業集積の推進
→企業集積・雇用の創出
- ②大規模災害への備え
→避難経路の確保・派遣の迅速化
- ③救急医療サービスの向上
→搬送時間の短縮による迅速化

など、多面的な効果が期待される。